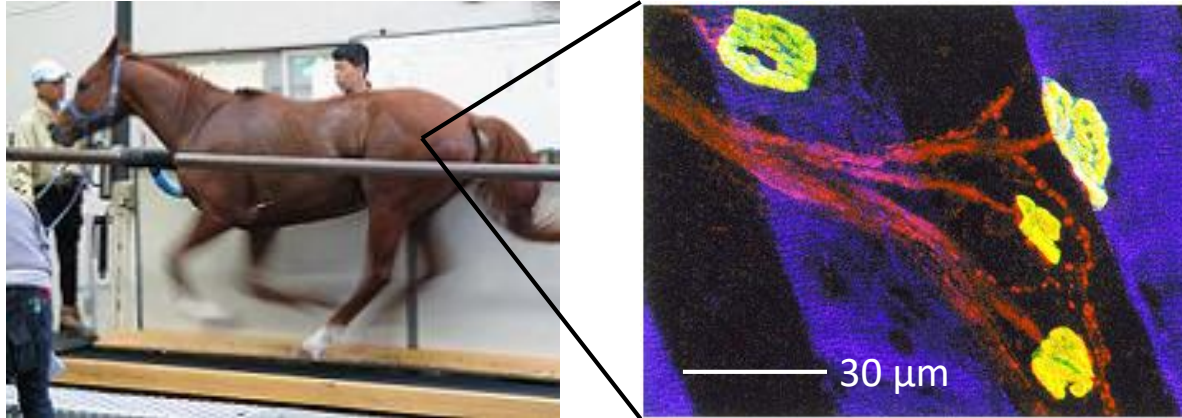
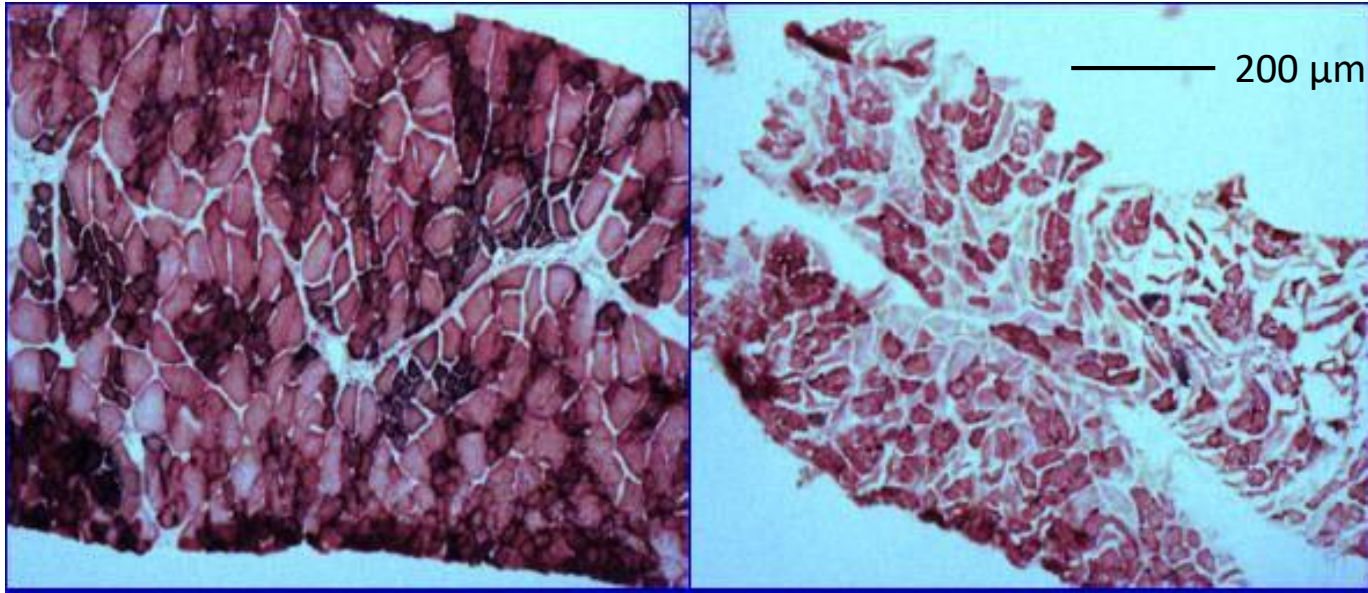


ヒトを含む哺乳類の骨格筋の機能・構造を調べる



トレーニングを積んで活動量が増大した動物モデル(左写真:サラブレッド競走馬), あるいは寝たきりになったり, 宇宙に行った場合に起こる活動量の低下を想定したモデルにおいて, 運動ニューロン, 骨格筋細胞, および両細胞の接点(右写真:神経筋接合部)で起こる変化を組織化学, 生理・生化学, 分子生物学的にしらべています。

ヒトを含む哺乳類の骨格筋の加齢変化を調べる



加齢に伴う骨格筋の萎縮の原因を、様々な動物モデルを用いて組織化学、生理・生化学、分子生物学的にしらべています。写真は若齢ラット(左)および老齢ラット(右)から取り出した呼吸筋の横断面です。